

福祉用具の消毒工程管理認定制度 主な審査内容・費用

主な審査内容

1.書面調査

申請時にご提出いただいた書類の内容について調査を行います。

- 1 マニュアルの整備状況
- 2 マニュアルや申請書類などによる消毒工程の管理方法の確認
- 3 消毒機器・消毒薬などの管理状況の確認
- 4 構造・設備など、人員基準の状況の確認
- 5 見取図による作業動線の確認
- 6 認定シールの管理方法の確認(更新の場合)など

2.実地調査

申請のあったすべての消毒事業所を調査員が訪問し、以下の調査を行います。

- 1 現場調査
 - (a) 消毒工程管理(マニュアルに基づく運用状況、記録などの管理状況等)の調査
 - (b) 消毒機器・消毒薬剤などの管理状況の調査
 - (c) 事業所の構造・設備など、人員基準の状況、作業動線の現場調査
 - (d) 各種記録、設備・装置などの点検状況の確認
 - (e) 認定シールの管理状況(更新の場合)など
 - (f) マニュアルや申請書類などによる消毒工程の管理方法の確認
- 2 ヒアリング調査
 - (a) 消毒業務の管理責任者…管理・指導状況の確認
 - (b) 消毒従事者…運用状況、マニュアル理解、設備点検状況などの確認、研修状況等
- 3 消毒結果の確認
 - (a) 一般生菌数、黄色ブドウ球菌について検査

3.審査

前述の様々な調査結果をもとに、「福祉用具の消毒工程管理認定制度基準認定委員会」が認定可否の審査を行います。

費用

手数料(申請手数料、実地調査費、認定費用)ならびに認定シール費用が必要です。

- ・ 申請手数料…1事業所あたり 本体価格95,200円 + 税
- ・ 実地調査費…実地調査に要する日数に応じた宿泊費及び日当並びに交通費実費(1名分の上限78,568円)
- ・ 認定費用 …過去1年間の消毒実績件数 × 4.3円 + 税
- ・ 認定シール…認定シール枚数 × 6円 + 税 (梱包材貼付用)